

国際ロータリー第2500地区第6分区

# 帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015年度  
帯広東ロータリークラブ  
会長 西田 重人  
幹事 深澤佳世子  
メディア委員長 加藤雄樹

## 「和気藹々」

### 第1464回例会

平成27年3月14日(土) 於 北海道ホテル



■創立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30  
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: アパホテル帯広駅前

2014-2015年度  
国際ロータリーテーマ  
【ロータリーに輝きを】

2014-2015年度国際ロータリー会長  
ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ  
【誠心誠意】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー  
奥 周 盛

- ◎開 会 式  
司会 河西 智子(西RC)
- ◎点 鐘  
ガバナー補佐 川田 章博(西RC)
- ◎開 会 の 辞  
IM実行委員長 鈴木 享(西RC)
- ◎国 歌 斉 唱



#### ロータリーソング

- 奉仕の理想 ソングリーダー 萱場 誠一(西RC)
- ◎歓迎挨拶 帯広西RC会長 平田 利器
- ◎来賓紹介 ガバナー補佐 川田 章博
- ◎参加クラブ紹介

#### ガバナー挨拶

ガバナー 奥 周盛 様



IM (Intercity Meeting) は従来IGF (Interity General Forum) といわれ、ロータリー情報及び教育の手段として研究・討議する会合で、ガバナーが主催する地区行事でした。現在のIMは、テーマや形式を幅広く解釈し、ロータリーの知識を広めるとともに会員相互の親睦を目的として、ガバナー補佐が主催して分区単位で開催しています。今回のIMには、

特別講演に米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハ氏(モンゴル)とロータリー米山記念奨学会前事務局長の坂下博康氏(東京北RC)の講演が予定されています。米山記念奨学事業は123カ国18,000人の元外国人留学生は「米山学友」として、世界各地で活躍し、日本との架け橋になっています。

#### 来賓挨拶

帯広市長 米沢 則寿 様

ロータリークラブの皆さんにおかれましては、日ごろから“奉仕”の精神のもと、様々な活動に積極的に取り組まれ、十勝・帯広の発展と住民福祉の向上に多大なご貢献をいただいておりますことに、深い感謝と敬意を表します。

十勝・帯広は「フードバレーとまち」を旗印に食や農を活かしたまちづくりを進めてまいりました。長年にわたり、まちづくりのパートナーとして活動されておりますロータリークラブの皆さんには、更なるお力添えをお願い致します。



#### 主催者挨拶

ガバナー補佐 川田 章博

今回のIMは「近隣ロータリアンとの友情育成」と「地区の抱える課題」の2点をテーマに開催しました。

懇親会のテーブルを新たな友情の出会いの場に、「地区の抱える課題」は米山奨学会の寄付額が最低水準に低迷している現状を米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハ氏をモンゴルから招聘し、奨学会前事務局長の坂下博康氏と共に米山奨学会についての講演をいただきます。



#### 特別講演

ロータリー米山記念奨学会前事務局長  
坂下 博康 様(東京北RC)

日本のロータリークラブ約9万人が力を合わせて運営しています。困っている人にお金を差し上げるだけではなく平和の促進を願って34地区で行っている平和事業は



世界に誇りうる事業です。心の中にある国境を無くしたいと考えて行動している人が多いと思います。異文化理解、相互理解のために留学生支援が必要と考えています。60年間ぶれずに行ってきた事業でこれまで200億円の援助を行ってきました。ポイントの一つとして世話クラブカウンセラー制度があります。これは

日本ロータリーの独特の制度です。東京RCが戦後の日本は何をなすべきかの議論の中で「平和日本を世界に発信しよう」が原点です。年間約700人に支給しています。

米山学友会は台湾・タイで活発に活動を行っている。モンゴルでもガルバドラッハさんの活躍で立ち上がっています。中国・韓国では国情の関係で活動はありません。

台湾学友会では日本人留学生に奨学金を支給しています。

次年度の台北RCガバナーは米山学友です。

### 特別講演

「日本からいただいた宝物」

新モンゴル学園理事長

ジャンチブ・ガルバドラッハ 様

北海道は今回で2回目です。現在52歳で子供5人、孫も5人います。1995年日本政府奨学制度教員研修で山形大学入学。その後、奥さんとアルバイトで何とか生活していました。1998-99年に山形北RCが世話クラブで米山奨学生に選ばれたことが、人生の転機になりました。妻と4人の娘連れでの留学でした。



私の夢はモンゴルに学校を作る事だと山形北RCで話をしました。その結果、山形RCが中心になって「柱一本の会」ができました。支援の輪が広まり、300人を超えました。モンゴルへ帰り、親、兄弟からの協力も得て2000年10月5日、モンゴル初の日本式高校である新モンゴル高校が誕生しました。この高校は長女トゴスの入学した山形県立西高校をモデルにしました。彼女はその後、東北大学法学部へ進学しました。

新モンゴル高校の教育理念は

- ①将来モンゴル国を背負っていくリーダー的人材の育成
- ②国際社会で活躍できる地球市民の育成
- ③幸福の真の意味を理解し、博愛をもって、世界平和のために自分を尽くせる人材の育成 です。

新モンゴル高校の卒業生は1,460名で国内大学進学者1,445名(98.6%)、海外留学生は400名以上で、留学先は

日本282名、アメリカ36名、中国22名、韓国10名、英国と台湾が4名ずつです。日本では東大8名。京大、東北大4、一橋大6、千葉大15名など、日本で45の大学、専門学校へ留学しています。日本とモンゴルの絆を築く卒業生の夢は「国連総長になる」や「モンゴル大統領になる」など、多くの優秀な学生が活躍しています。

3.11大震災直後の3.21に救援物資210kgと124万8千円の義捐金を持って来日、名取市へ贈りました。お世話になった方に恩返しが出来ました。

私は2011年にフレールCに入会、2013年5月18日に開かれた広島平和フォーラムにパネリストとして活躍。

2014年3月1日 モンゴル米山学友会を設立、2015年フレールC会長に就任しました。米山奨学生に選ばれなかったら、毎日アルバイトに明け暮れてモンゴルへ帰っていたかもしれません。

日本からの宝物は日本式高等学校を丸ごと頂いたことと国際舞台で活躍できる卒業生がいることです。

最後に「柱一本の会」の皆さん、ロータリアンの皆さん、米山学友会、日本国民、日本に感謝します。

### ◎閉会式

司会 河西 智子

- ・主宰者謝辞 ガバナー補佐 川田 章博
- ・次年度ガバナー補佐挨拶 白岩征之様(帯広南RC)
- ・次年度ホストクラブ会長挨拶 佐藤 和年 様
- ・閉会の辞 帯広西RC副会長 飯田 正行

### ◎懇親会 司会 谷脇 正人

- ・開会の辞 帯広西RC副会長 佐々木 和彦
- ・実行委員長挨拶 IM実行委員長 鈴木 享
- ・鏡割り
- ・乾杯
- ガバナーエレクト 東堂 明 様



### ロータリーソング

- 手に手つないで ソングリーダー 萱場 誠一
- ・閉会の辞 IM副実行委員長 越智 孝佳

### 次週のプログラム

- 3月17日(火) 「ローターアクト卓話」
- ・鈴木彩乃会長・道見賢人副会長
- ・小峯洵也幹事・曾根啓介会員